

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

| わがまちの道徳教育推進プラン | | 所管する小学校名 | 安田小学校 | 校数 | 1校 | 計 | 2校 |
|--|---|---|---|--|---|-------|----|
| 安田町教育委員会 | | 所管する中学校名 | 安田中学校 | 校数 | 1校 | | |
| 道徳教育推進方針 | | 学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進 — 夢や目標をもち、地域をよりよくしようとする子 — | | | | | |
| 年度当初の拠点地域の状況 | | 到達目標 | 中間検証(下半期に向けての改善事項) | 到達目標達成状況 | | | |
| <p>今年度当初に、地域の児童生徒の道徳性の実態を把握するために行った道徳意識調査の結果から、7項目中6項目は、肯定的回答が80%以上であった。しかし、「家の人と道徳の話をしたり、家庭で取り組む 高知の道徳を読んだりしている」の項目が54.2%と低い割合となった。</p> <p>また、「自分には、よいところがあると思う」という項目においては、80.0%であり、他の項目と比較すると高い割合とはいえない。</p> | | <p>道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</p> <p>① 道徳の学習に対する意識を2ポイント以上向上</p> <p>② 「家の人と道徳の話をしたり、家庭で取り組む 高知の道徳を読んだりしている」5ポイント以上向上</p> <p>③ 「自分には、よいところがあると思う」3ポイント以上向上</p> <p>④ 「将来の夢や目標をもっている」2ポイント以上向上</p> <p>⑤ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」2ポイント以上向上</p> | <p>家庭との連携を図った道徳教育の推進強化を図るために、「高知の道徳」を授業の中で計画的に活用する、学級便り等で道徳に関する内容を掲載する等の周知徹底を図る。</p> <p>安田町道徳教育推進協議会において、意識調査、授業力チェックシートの検証を踏まえた改善策を県指導主事に助言をいただきながら、より具体化し、各校で実践を図る。</p> | <p>① 道徳の学習に対する意識は0.3ポイント向上したが、到達目標は達成できなかった。</p> <p>② 「家の人と道徳の話をしたり、家庭で取り組む 高知の道徳を読んだりしている」19.5ポイント向上</p> <p>③ 「自分には、よいところがあると思う」4.8ポイント向上</p> <p>④ 「将来の夢や目標をもっている」2.3ポイント向上</p> <p>⑤ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」0.6ポイント低下</p> <p>②③④は、達成。①⑤は未達成。</p> | | | |
| 到達目標達成のための取組 | | 取 組 計 画 | | | 指標達成状況の分析 | | |
| 取組項目 | 取組の評価指標 | 5月～8月 | 中間評価 | 9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可) | 達成状況 | 年度末評価 | |
| 道徳教育の主体的な推進体制の整備 | ◆各小・中学校において、道徳教育推進のための校内体制ができている。 | ①安田町道徳教育推進協議会(3回) ・各校の道徳教育推進教師を中心とした推進体制の確認 ・児童生徒意識調査結果の協議・取組策の検討 | B | ②安田町道徳教育推進協議会(5回) ・意識調査の検証を踏まえた取組改善策に基づく実践報告・検証(県指導主事助言) | ・安田町道徳教育推進協議会において、定期的に各校の実践報告・検証の場を設けることで、校内推進体制が整備された。 | A | |
| 道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究 | ◆各校の道徳授業力チェックシート【教師用】【児童生徒用】におけるポイントを年度当初より向上させる。 | ①講師を招聘しての小中合同指導案検討や授業づくり、指導方法に関する学習会実施 ②各校全学年、道徳授業力チェックシートを活用した公開授業の実施 ・各校で道徳授業力チェックシートの結果の協議・授業改善策の検討 ③授業づくり講座へ複数名参加・各校で共有 | B | ①道徳推進リーダーの公開授業研究会実施 ・講師を招聘しての講評・講話 ②安田町道徳教育推進協議会において道徳授業力チェックシートの検証を踏まえた各校の授業改善に基づく実践報告・検証(県指導主事助言) ・引き続き各校全学年、道徳授業力チェックシートを活用した公開授業の実施 ③授業づくり講座へ複数名参加・各校で共有 | ・各校全学年及び全教員、道徳授業力チェックシートを活用した公開授業の実施 ・道徳授業力チェックシート平均【児童生徒用】3.7→3.7、【教師用】3.4→3.2 教師用はすべての項目において年度当初よりポイント下降 ・授業づくり講座へ各校2名ずつ参加 | B | |
| 小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実 | ◆道徳研修会、公開授業研究会に、小中全教員が参加し、取組の共通理解を図る。 | ①小中合同の道徳研修会の実施 ・小中の公開授業研究会の指導案を小中の教員と一緒に検討 ②「高知の道徳」の効果的な活用について協議し、取組を推進 | B | ①小中合同の公開授業研究会の実施(2回) ・小中で研究授業を1回ずつ実施 ・研究授業後、小中の教員が一緒にグループになり研究協議を実施 ②「高知の道徳」の効果的な活用について協議し、取組を推進 | ・道徳研修会、公開授業研究会に小中全教員参加【道徳研修会22名・小学校公開授業27名・中学校公開授業30名(支援員・町外教員含む)】 ・各校、道徳掲示板を設置 | A | |
| 学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進 | ◆各校の道徳参観日への保護者参加率を50%にする。 ◆「高知の道徳」を活用した懇談会を各校2回以上実施する。 ◆「ほめほめ週間」を学期に1回実施する。 | ①道徳参観日の実施 ・HPによる参加のための呼びかけ ・懇談会において「高知の道徳」の活用 ②各校の道徳教育別業に「高知の道徳」の活用ページを記入し授業の中で計画的に活用 ③「ほめほめ週間(児童生徒に意識して温かい言葉をかける)」を「高知の道徳」と関連させながら実施(1回) ④学級便り等で道徳に関する内容を掲載 | C | ①道徳参観日の取組をHPで発信 ・懇談会において「高知の道徳」の活用 ・「高知の道徳」を授業の中で計画的に活用 ③「ほめほめ週間(児童生徒に意識して温かい言葉をかける)」を「高知の道徳」と関連させながら実施(2回) ④学級便り等で道徳に関する内容を掲載 ⑤講師を招聘しての講話の内容→「学校・家庭・地域が一体となって取り組む道徳教育」 | ・道徳参観日の保護者参加率 小60% 中33% ・各校2回以上「高知の道徳」を活用した懇談会の実施 ・各校「高知の道徳」の内容を宿題として取り入れ授業の中で活用 ・「ほめほめ週間」と「高知の道徳」の活用をタイアップして学期に1回実施(年3回) ・各校、道徳通信や学級通信で道徳に関する内容を掲載 | B | |